

平成 29 年度 第 7 回西区自治協議会会議録

日時：平成29年10月24日（火）午後 3：00～

会場：西区役所健康センター棟 1 階大会議室

（岩協会長）

はい。分かりました。先ほどの教育委員会とのミーティング、長丁場でございましたが、よろしくお願いいたします。

それでは次第に沿って進めたいと思います。2の議題（1）部会の状況報告でございます。それでは各部会長より簡潔に概要報告をお願いしたいと思います。今回は平成 30 年度の特徴ある区づくり事業の委員アイデアと事務局案について、各部会で審議を行っていただきましたので、それを中心にご報告いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。なお、担当部会での決定は尊重したいと思います。その他皆さま方の意見が多数あった場合は、この場で審議して、当協議会からの意見を決定したいと思っております。それでは大谷部会長、よろしくお願いいたします。

（大谷委員）

それでは第 1 部会の会議概要をご報告いたします。所管分野は防犯、防災、自然環境、住環境等であります。10月10日、火曜日に第6回の会議を行いました。出席者は会議概要記載のとおりであります。議事については最初に平成 30 年度特徴ある区づくり事業についてを議題としました。9月本会で配布した特徴ある区づくり事業関係資料の資料ナンバー 2 - 1、2 - 2、資料 3 に基づき、担当課の考え方について、教育支援センター、総務課、並びに建設課からそれぞれ説明があり、事業ごとに質疑応答と意見聴取を行い、それぞれの議論内容を了承し、最終的に部会として異議ない旨の意見集約を行いました。

なお、委員から出された意見は、点線の囲み部分に記載のとおりでありまして、資料ナンバー 2 - 1、委員アイデアの区企画事業の整理番号 1 の【災害に対して身を守るための啓発・学び事業】について、学校で行われる防災教育について、保護者の参加が少ないので増やす工夫をしてほしいという意見がありました。

資料 3 の平成 30 年度特徴ある区づくり事業、事務局案の整理番号 4 【西区安心安全推進事業】について、避難所運営講習会については、多くの方が参加できるよう、土日開催を含めて柔軟に対応してほしいこと、及び体験型交通安全教室については、実際の交通事故を再現した効果的な事業であるので、各校を一巡した際の継続事業のあり方を検討してほしい旨の意見がありました。

同じく整理番号 12 【未来につなぐきれいなまちづくり事業】について、さまざまなクリーン作戦を行っているが、ポイ捨ては一向に減らないという意見に対して、子どもへの教

育が重要なので、多くの子どもたちに各事業に積極的に参加してもらい、根気強く活動を継続することが重要であることの見解で一致を見ました。

裏面に移ります。西区一斉クリーンデーについて。チラシの記載に8月第1日曜日の実施日の周知が必要であるという意見がありました。その上で、各地域の実施日を分かりやすく知らせていくということでもあります。

新川河口排水機場を視察した際に、ごみがポンプに詰まるとポンプが止まる恐れがあるので、それを踏まえた河川環境保全に係る事業の実施をお願いしたい旨の意見であります。

続いて、西川絵画ポスターコンクールや西川流域子ども環境サミットの事業を行うにあたり、西側の法面の安全管理の徹底を指摘する意見がありました。

ペットマナーの向上支援の出前講座については、共働き世帯が多いので、土日開催の検討をお願いしたい旨の意見がありました。

整理番号 13【げんきな保安林づくり】については、保安林整備講座の参加者が少ないので、PR等の工夫をお願いしたい。ボランティア募集を広くPRしてはどうかという意見がありました。また松枯れは農村部でもすごい勢いで進んでいる現状を知ってほしい旨の意見がありました。

引き続き8月7日の現地視察の振り返りについて、9月の部会に引き続いて行いました。今回は寺尾中央公園の広域避難所と防災倉庫の状況について、及び市内小中高校の避難所の備蓄状況について説明を受けました。委員からは防災備蓄品については、拠点地から学校避難所に順次移してほしい。また学校側も備蓄品の確保に場所を提供してほしい旨の意見が出されました。これに対して総務課から、学校は教育施設であるので、簡単にはいれないが、可能な範囲で少しずつ移動させている旨の説明がありました。

なお、備蓄品の話をしておりますが、せっかくですので防災備蓄品の種類について、私からどんなものがあるのかというのをご紹介したいと思います。アルファ化米やビスケットなどの主食、それからおかゆ、保存水、携帯トイレ、粉ミルク、それからおむつですね。大人用それから乳幼児用。それから生理用品、毛布、哺乳瓶、それから哺乳瓶の消毒剤、発電機、灯光器セット、洋式便座、ストーブ、簡易コンロ、トイレトーパー、プラスチックコップなどでありまして、とにかく防災備蓄品といえば非常に多岐にわたっております。いずれにいたしましてもとにかく災害が来ないことをただ祈りたいと思います。

それから最後に9月18・19日の防災・防犯講演会の振り返りについて、アンケート集計結果に基づいて、詳細な説明がありました。アンケートの自由記載について、数多くの感想をお寄せいただき、多くの方から高い評価をいただいたことを承認させていただきました。

次回部会は11月8日、水曜日、午後3時から、平成30年度の自治協議会提案事業などについて協議をいたしたいと、このように思っております。以上報告といたします。

(岩協会長)

ありがとうございました。それではまず特色ある区づくり事業事務局案について、対する部会の審議結果については、ご意見、ご質問等がございませんでしょうか。ただいまの大谷部会長の報告について。ありませんか。

なければ第2部会の郷部会長、お願いいたします。

(郷委員)

第2部会です。第2部会は所管分野が保健福祉、文化、教育等です。開催日時は10月12日、木曜日、午前9時半から11時半です。出席者は書かれているとおりで。主な議事、1番目、平成30年度特色ある区づくり事業について、資料2-1、2-2及び資料3に基づき、地域課、健康福祉課から説明がありました。また区役所企画事業の事務局案について、事業ごとに質疑応答と意見聴取を行い、審議の結果、部会として異議ない旨、意見集約を行いました。そのときに委員の皆さまから出された意見は下記のとおりです。

まず区企画事業のアイデア3番【健康寿命を延ばすためのPR活動】についてです。マグネットシートなどで、公用車にPRをしていったらいいのではないかというアイデアなのですが、マグネットシートの簡単な手法で取り組みを進めていきたいということですが、ただ公用車の場合、プライバシーの問題もありまして、公用車が行っているということが分かってもらいたくないご家庭もあるので、その辺りは配慮しながら進めていくと。そしてオートボディプリンターも期間限定などのイベントなどに特に有効と考えられるので、併せて検討いただきたいという意見に対しては、検討していただく方向で考えていただく。何とかイベント週間のときだけ付ける。終わったらはぐ。そんなような自由な感じでPRを広めていきたい。

また意見1、健診結果の見方の説明会及び健康相談の開催について。健康相談の実施にあたっては、多くの方が参加できるように土日開催など柔軟な対応をしていただきたい。ただ健診を受けない方、土日開催にしても情報が行かない方、来ない方はどんな手を使ったら来ていただけるんだろうという話になり、なかなか個々に知らせていくというのが難しいですねということで、印刷物を出している、市報に載せている、新聞にも載せているといっても、なかなか一方通行の発信になってしまうので、それだけではなく、民生委員やコミ協の福祉部という各種団体の取り組みとも連携しながら、地道に広報活動をして、参加者の増えることを期待していくという意見が出されていました。

また介護保険から新潟市の総合事業への移行の検証ということで、採算不良による撤退事業所が生じていると聞いており、しっかり検証していく必要があるというご意見をいただいております。

めくっていただきまして、資料3の平成30年度特色ある区づくり事業の事務局案について、まず整理番号1番【西区健康応援事業】。平成29年より要支援の方を対象に、「幸齢ますます元気教室」なども開始されたが、各種事業と連携を図り、高齢者の継続活動につながるように支援してほしい。いろいろな何とか体操教室というのがほかにもあるという委

員の意見が出ていまして、どうなっているのだろうということで、少し確認していただきましたら、要支援の方を対象に「幸齢ますます元気教室」、また健康な高齢者を対象とした体操教室、いろいろな対象でいろいろな教室が開催されるということが、私たち2号委員もよく分かりましたので、きっと私たち委員でさえ分かりにくいので、しっかりと事業の発信をしていただき、いろいろな連携を取りながら、高齢者が情報をキャッチできるように支援していただけるとありがたいと思います。

整理番号2番【あんしん・ふれあい・ささえあい事業】です。小中学生認知症サポーター養成事業はとても意義深い事業であり、地域教育コーディネーターにもお知らせするなど、ぜひ各校で推進してほしい。西区としましては30年度から中学校にもこれを広げていくということでこの事業を拡大していきたいのですが、なかなか学校長だけだと広がらないので、コーディネーターにもお知らせすると広がるのではないかという意見が出されていきました。また学校も忙しいので、授業時間1コマと言われていますが、1コマだとなかなか伝えきれないので、ぜひ中学生に伝えるには、中学生が具体的にどのような行動の実践にしていけたらいいかという、実践につながるようなカリキュラム内容を充実してほしいという意見が出されていきました。

整理番号8番【西区スポーツ健康プロジェクト】。高齢者・成人向け教室などは、コミュニティ協議会にも周知して参加者を募っていったらどうか。

整理番号9番【西区こども特派員】。ふるさとを知り郷土愛の醸成につながる事業であるので、とてもいい事業だと委員の皆さんは認知しております。ただ残念なことに29年度、参加者が少し少ないというお話を聞きましたので、実施時期の再検討などにより、参加者増加の工夫もして実施してもらいたいと。そしてまた子どもたちがそのときに壁新聞を作成したということで、それを掲示するというお話がありましたが、この事業を子どもたちに知ってもらうためには、区役所とか中心のところに掲示ではなく、各学校に持ち回りで掲示してもらおうとか、とにかく子どもの目に触れるような掲示を工夫してもらおうと、効果的な周知になって、来年度の参加者が増えるのではないかという意見が出されていきました。

2番、スポーツ鬼ごっこ西区Cupの開催について、3級ライセンス取得者ら実行委員は、当日9時に会場集合により運営にあたります。午後からの小学生大会の実施にあたっては各チームの誘導など、きめ細かいフォローができるよう、その他実行委員にはなっていないけれども2部会の部員の方で、参加可能な方は午後1時までに集合するということを徹底させていただきました。ただ今現在で申し込みチームが3チームということです。そしてもう少しチームを出せそうだよという情報が2チーム。この申し込みの方法が、小学生対象なのですが、7人チームということで、なかなか小学生が7人集めて、チームをつくって申込むということが少し難しかったなど、ハードルが高かったなど反省をいまして、事務局にも個人で参加したいという問い合わせもありますので、ホームページ等で、個人参加でもこちらのほうでチームを組みますのでどうぞ来てくださいという方向も出していこうと今考えております。

また学年がばらばらになって、なかなか低学年のカテゴリー、高学年のカテゴリーとできないことも想定して、保護者も参加できるフレンドリーマッチということもプログラム内で実施していこうと思っています。

3番、その他、幸齢いきいき講演会の開催結果について。先ほど1部会長からも報告がありましたが、アンケート集計を見せていただき、部員の中で振り返りを行いました。本当にたくさんの方から高評価をいただき、一口感想という、文を書いてくださいというところは、全部まとめてみますと、A4、3枚ぐらいに書かれているのですが、ほとんどがありがとうございました。感動しました。素晴らしかったです。この3文字でしめくくられているという、本当に素晴らしい講演会だったなと再確認させていただきました。

本日この本会議の前に実施が終わりましたが、第2回教育ミーティングの実施について、より議論が深められるよう意見交換を行いました。先ほど終わりましたが、本当に時間が足りなくらいたくさん意見が出て、良い教育ミーティングを行うことができましたことをご報告させていただきます。

次回、第7回の開催日程です。平成29年11月7日、火曜日。午後3時から、西区役所3階303会議室で、今度は自治協提案事業についてを主な議題として開催いたします。以上です。

(岩脇会長)

ありがとうございました。ただいまの第2部会長の報告について、何か質問、ご意見等がございませんでしょうか。坂井委員、お願いします。

(坂井委員)

公募委員の坂井です。私も第2部会に参加したかったのですが、所用があって参加ができなくて、介護事業の研修にかかわって文書を出しました。介護の担い手不足に対して、担当課の考え方として、株式会社、NPO等の参入を図っていくとあります。それに対し、実際の介護現場は経営が大変で、この1年間に19の事業所の34部門が休廃止していることを紹介しました。それがさっき紹介された意見②になったのかよく分かりません。この件に関わってお話しなかったのは、介護の人材、担い手不足について、ちょっと簡単にご紹介したいと思います。

この8月7日に、新潟県第1回介護人材確保対策会議が行われました。この会議は介護に関わるさまざまな団体や行政、研究者19人の構成で3つの部会が設けられました。介護人材の確保について、大変きめ細かい施策が協議されています。例えば介護福祉士を目指す方には、月学費5万円、生活加算金4.2万円が計9万2,000円。入学準備金、国家試験受験費用、その他研修費用で44万円が支給されて、就職5年間の実務従事で返済不要など、大変手厚い支援策が取られています。

そこで出された資料をちょっと簡単にご紹介いたします。介護関連業者では、有効求人

倍率は県内で 2.46 倍、全国で 3.46 倍だそうです。異常に高いのです。求職者より人を募集するほうが高い。ですから私の知っている介護施設は、年がら年中、いつも求人をしていきます。離職者が多くて、人が足りなくなってから求人をしていても間に合わないのだそうです。人材がいなくて、特養に空きがあっても入れられないというようなことがあるそうです。介護施設の職員数は年間 1,000 人ずつ増えているのですが、それでも不足状態とのことです。県内では今でも介護人材の不足が 3,000 人だそうです、平成 34 年には 4,000 人に増えるとされていました。介護人材は他の職種に比較して、給料が月 10 万ほど低い。その割に重労働だということです。離職者のうち、就職後 3 年以内の人が 7 割とのことです。長続きしないということです。県内の介護福祉士養成機関の入学状況は、定員が平成 25 年の 559 人から、平成 29 年度は 495 人まで 64 人減ったのですが、入学者数が 446 人から 222 人へと 224 人も減少して充足率は 74.5%から 45.3%に大きく下がったそうです。これでは私は学校の運営も厳しいと思います。高校の先生とお話しますと、介護方面に進む希望を持っている生徒には、介護は労働のわりに待遇が厳しいから、医療方面を目指せというふうに指導をするのだそうです。

この状態を改善するためにさまざまな事業に取り組んでいるのですが、最も重要な対策である賃金の低さについては、国への要望が継続となっています。新潟県だけの努力では解決できないということだと思います。介護の現場が、これからいろいろ必要になってくるのに、介護事業所、介護人材についてそういう状態にあるということを確認する必要がありますのではないかと思いました。

(岩協会長)

ありがとうございました。第 2 部会の方、坂井さんが資料を提供してくださいましたので、また希望の方はいただいでください。ほかにご質問、ご意見等がございませんでしょうか。なければ、この報告全体に関してご意見、全体ですよ。ご意見、ご質問がないようでしたら、続いて第 3 部会の部会長、お願いいたします。

(塩川委員)

第 3 部会、報告いたします。所管分野は農林水産業・商工業・交通等でございます。平成 29 年第 6 回会議の開催日程は平成 29 年 10 月 10 日。会場、出席者は記載のとおりでございます。主な議事といたしまして、「1 平成 30 年度特色ある区づくり事業について」。9 月の本会で配布した特色ある区づくり事業関係資料、資料 2-1、資料 2-2、資料 3 に基づき、事務局から説明がありました。区役所企画事業の事務局案について、事業ごとに質疑応答と意見聴取を行い、審議の結果、部会として異議のない旨、意見集約を行いました。委員から出されたその他の意見は下記のとおりでございます。

資料 3、平成 30 年度特色ある区づくり事業事務局案、整理番号 6【おいしい西区魅力発信事業】。レストランバスを活用した都市農村交流ツアーの企画にあたり、市内の他交通事

業者の活用等により、料金を安価に設定することで、さらなる参加者の増加を図ることができないのか。

整理番号7【西区農産物ブランド拡大支援事業】。くろさき茶豆のG I認定により、例年以上の生産量が必要となり、不足することもあったようなので、次年度以降は需要に応えられる生産量が確保されるよう検討いたしたい。いもジェンヌの魅力をより一層発信していただきたい。

整理番号8【歩いて見つける！西区の宝おもてなし事業】。赤塚の観光ルートやまちあるきを検討する際に、自然景観に加え、飲食店など「食」を活用することにより、魅力の向上を図ることができないのか。

整理番号9【西区農地再生サポート事業】。耕作放棄地は雉（キジ）等の動物が繁殖しており、農作物に被害が出ている状況もあるため、耕作放棄地対策を検討する際の参考にしていただきたい。

次ページ、「2 商店街等活性化研究・実践事業について」。農政商工課より内野地域商店街活性化ワーキングチームの会議内容について報告がありました。大学生が内野地域に求めていることを把握するヒアリングの実施や、内野地域における情報発信についての検討など、さまざまな取り組みを確認いたしました。

新潟国際情報大学学生研究チームメンバーの小林直起委員より、次回の「うちのDEこすぷれ」は幅広いお客さまの来場を期待しており、クリスマスシーズンでの開催を目指し、内野駅前商店街が取り組むイルミネーションとの連携等、より魅力あるイベントとなるよう検討している旨の説明がありました。

「3 西区の公共交通に関するニーズ調査について」。地域課より区内西区を運行する区バス（中野小屋ルート）、住民バス（コミュニティ佐潟バス・内野上新町バス）に関するニーズ調査の実施について説明がありました。今後沿線の地域コミュニティ協議会のほか、交通を所掌する第3部会において、ニーズ調査の調査票案の確認を行うことといたしました。

そのほかに皆さまの机の上にカレンダーが置いてあると思いますが、第3部会が取り組んでいる「2018 西区ふれあいカレンダー」が完成いたしましたので、委員の皆さまの机上に配付させていただきました。先週末の西区アートフェスティバルを皮切りに配付を開始し、昨年から区内の市公共施設にて設置し、配布をしております。配布を楽しみに待っていたなどの声が多く聞かれ、第3部会長としてうれしく思っております。制作にご協力をいただきました皆さまに改めて感謝を申し上げます。永吉委員、何か。

（永吉委員）

カレンダーの制作にあたりましては、原稿の執筆等、いろいろとありがとうございました。とても感謝いたしております。今年のカレンダーはお隣にいらっしゃる嘉藤委員を総合プロデューサーとして、学生を中心にレイアウト構成をさせていただきました。ですの

で、中身を見ていただくと分かるのですが、非常に女性ならではの視点のやわらかい、繊細な感性が詰まったものになっております。例えば文字デザインのところで、数字で毎月ごとに色が変わっているのです。こういう四季の移ろいの繊細な感じというのは案外デジタルデータで作っていくのは大変な作業なのですが、それを昼夜問わず学生スタッフ並びに特に嘉藤委員中心にやっていただけたので、今回このような素敵なものになりました。ぜひ皆さんにこのようなものを周知していただいて、より市民の情操を高めるようなものとして使っていただければと思います。よろしくどうぞお願いいたします。

(岩協会長)

ありがとうございました。それでは特色ある区づくり事業、事務局案に対する部会の審議結果について、ご意見、ご質問等がございませんでしょうか。なければそれでは各部会の審議結果を、当協議会の意見としますので、よろしいでしょうか。

<異議なしの声>

(岩協会長)

ありがとうございました。それでは次にまいりたいと思います。プロジェクトチーム1の報告でございます。鍋谷部会長、お願いいたします。

(鍋谷委員)

プロジェクトチーム1です。部会の開催した日時、会場、出席者は記録のとおりです。主な議事です。最初に第23号の振り返りをいたしました。そこに四角に囲んで2つございます。1つめの黒点のところは、区民の方が寄せてくださったご意見でございます。2つ目の黒点は部会で検討した反省点でございます。先回この会でもお話しましたが、何か23号を見たときにインパクトがないなと思った私の感想でございましたが、いろいろ検討してみましたが、事前に校正用として印刷屋さんから配られた紙と本番の紙の紙質が違っているということが分かりました。それでこの次からはそういうことがないように、きちんと本番どおりの紙で試し刷りもしていただきたいということで、活字のことも含めまして、印刷屋さんとこれから交渉していくことになっております。

次に第24号の作成状況でございます。内容につきましては、1面、2・3面、4面、八分どおり原稿が整いまして、次の部会で検討いたします。

次の第7回の部会開催でございますが、11月15日に行います。この24号の作成状況について検討します。また「ほか」とありますが、もうこのときには24号発行前、次の25号、次は3月31日発行になるのですが、それへの準備もそろそろ始めなければならないこととなります。この会で今第1部会、第2部会、第3部会、それぞれ今までご活動なされたこと、これからの活動についてのご紹介がございましたが、記事として広報に載せたほうがよいというようなご希望やご助言がありましたら、ぜひお知らせいただきたいと思います。

います。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの報告についてご意見、ご質問等がございませんでしょうか。作業が順調に進んでいるようでございます。ありがとうございます。なければ続いてプロジェクトチーム2、お願いいたします。

(永吉委員)

それではプロジェクトチーム2の会議概要について説明させていただきます。開催日時としましては、10月5日、木曜日、3時から4時45分までさせていただきました。出席委員については以下のとおりです

なお、主な議事としましては、当日運営マニュアルについて、事務局から当日運営の進行について、マニュアルに基づいて説明がありました。なお一人別のスケジュールを含む最終マニュアルについては、完成次第事前に郵送するということになっていました。当日衆議院総選挙の投票所として会場が使われることから、看板や展示、駐車場の利用等についてスムーズに運営できるよう努めることといたしました。

プログラムについて、当日配布プログラムの案について構成を行いました。またアート部門の展示については、構成を永吉部会長と嘉藤委員で行うことといたしました。

委員から出た意見は以下のとおりです。曲名は見やすいようにフォントを大きくするか濃くしたほうが良い。網掛け部分については文字が見やすいようになるべく色を薄くしたほうが良い。用紙の色は西区のカラーのオレンジ色がいいのではないか。

アンケートについて。当日会場に配付する来場者アンケートの修正案について最終確認を行いました。

裏面をご覧ください。その他。アートクロッシングにいがた実行委員会と連携実施する「西区アートキャラバン」の実施について、事務局及び部会長より説明がありました。こちらのほうは別にチラシがありますのでご覧ください。こちらのチラシになります。今回新潟日報の新聞で記事としてご覧になった方もいらっしゃると思いますが、新たな取り組みといたしまして、「うちのDEアート」で培ったノウハウを、今度は非常に広くさまざまな地域に還元していこうということで、「西区アートキャラバン」という企画を立ち上げております。こちらの企画は教育学部だけではなくて、工学部の芸術的素養や教育学部の技術的素養などを地域のお祭りやイベント、もしくはまちの活性化など、アート支援を行ってやっていくという要素で発想しております。またさまざまな要望に応えるために、今回モニター事業として、西区自治協議会のPT2と連携してさせていただきました。もしこのような要望がありましたら、また問い合わせをいただければと思います。

あとは次回の開催日程については11月10日となっておりますが、実際のアートフェスティバルの開催に関しましては、先週の日曜日に無事に終了いたしましたので、このアンケ

ートを報告させていただきたいと思います。

当日は雨にもかかわらず、雨といっても台風でした。多くの自治協の方々のお手伝いも来ていただきまして、誠にありがとうございました。この場を借りてお礼を申したいと思えます。並びにそのような台風の日にもかかわらず、昨年並みもしくはそれよりも多いのではないかと予想されるような満員御礼の状態が無事フィナーレを迎えることができました。これもひとえに皆さまのご協力、様々な方々のご協力だと思っております。ただここで、あいさつでも言ったのですが、特筆すべき点としましては、事務局の方々、その後選挙開票に向かったり、台風対策の対策本部を立ち上げたりということで、アートフェスティバルの準備と並行しながら、総選挙、台風対策、さまざまなことを活動していっしょの中、非常に尽力をいただいたので、併せてお礼を申し上げたいと思えます。ありがとうございました。以上でご報告を終わりたいと思えます。

(岩協会長)

はい。ありがとうございました。大体何名ぐらい観客がいたのですかね。おおよそで結構です。

(永吉委員)

昨年度を上回るかどうかというのは、今ちょっと計算方法とか昨年度とちょっと変わっているところもありますので、ちょっと今調整をしながら具体的な指針を出しているところです。

(岩協会長)

ありがとうございました。私どもも参加させてもらいましたが、最初の盛り上がり、後半のラストのゲストシステム、非常に良かったなと思っております。みんなが楽しかったと言って帰られたのが何よりだと思います。それではただ今の報告について、ご意見、ご質問等がございませんでしょうか。三富委員、お願いいたします。

(三富委員)

意見というよりも、私も21日、22日の2日間参加させていただいたのですが、素晴らしかったです。あんなに素晴らしいことが提案できたことはこの協議会として自慢できるのかなと思えました。今会長もおっしゃいましたが、もちろん最終の方がうまいのは当然なのですが、生徒たちも一生懸命やること。それから先生も非常に一生懸命でしたね。素晴らしかった。以上、それだけ言いたくて申し上げました。永吉先生の苦労がよく分かりました。どうぞよろしく申し上げます。

(岩協会長)

ありがとうございました。ほかに何かご意見等がございませんでしょうか。

それでは部会の報告が終わりましたので、次は報告事項に移りたいと思います。報告事項(1)区自治協議会会長会議についてでございます。これは私が出席しましたので、報告をいたします。

10月13日に開催された会長会議の議事内容について報告をいたします。当日配布資料「区自治協議会会長会議概要」をご覧ください。今回の会長会議では、「区自治協議会のあり方検討について」を主な議題として議論いたしました。9月26日に行われた「市民厚生常任委員会協議会報告資料」について、A3横の資料になりますが、事務局より説明がありました。これは皆さま方に添付してあります。資料右側の2番を見ていただけますか。2番、意見交換検討スケジュールをご覧くださいと思います。

ここに書いてある日程は6月から29年度3月まで。あと平成30年度、平成31年度。内容については、検討委員会が7月開催、10月開催、1月開催。自治協に皆さま方にご説明するのは6月。終わりましたね。そして参考意見の聴取。会長会議は10月13日に行われました。1月にあり方検討委員会の内容を議論をいたします。あと市議会の報告については12月の定例会と2月の定例会に報告をするというスケジュールになっておりますのでご覧ください。

今後のスケジュールについては、私が今説明いたしましたとおり、各区の自治協議会の説明等については、市民協働課から11月の自治協本会で説明をしていただき、12月に説明がありました自治協本会で西区自治協議会としての意見をとりまとめる予定としております。

3枚目の資料をご覧ください。各区の自治協議会委員より出された意見となります。添付のとおり私がお届けさせていただきます。これについては各区の委員の生の声を掲載してあります。後で読んでいただきたいと思います。

それから先ほど申しましたとおり、11月の本会で市民協働課より説明及び意見聴取、12月本会にて意見のとりまとめを予定しておりますので、皆さん、各区の自治協委員の意見についても先ほど言いました、一度目を通していただきたいと思います。次回の検討の参考としていただければと思います。私からの報告は以上でございます。

何か私の説明でご意見、また資料等についてご質問等がございますでしょうか。まだ期の途中でございます。あと2回皆さま方に説明する機会がございます。

それではなければ次に報告事項(2)地域ミーティングの開催について、地域課から説明をお願いいたします。

(永井地域課長)

地域課長永井です。よろしくお願いたします。私からは当日配布資料2-1、地域ミーティングの開催についてということで資料をご覧くださいながら説明をさせていただきます。

ます。着座にて失礼いたします。当日配布資料2 - 1、地域ミーティングの開催についてということで資料をご覧ください。まずは地域ミーティングについてでございます。4月からの新しい委員の方もいらっしゃいますので、改めて説明をさせていただきます。1番、地域ミーティングとはということでございます。地域ミーティングは市長が地域の皆さまに、その年のテーマに基づく市の施策や取り組みを説明し、意見交換を行うものでございます。往年毎年秋ごろに区ごとに開催しているものでございます。春に市長のまちづくりトークというものがあまして、秋に自治協、それからコミ協の皆さま方の意見交換ということで地域ミーティングを開催させていただいているものでございます。ミーティングの中でいただきましたご意見につきましては、秋以降に予算等が組み上がっていくという状況もございますのでそういったことを、いただいた意見を今後の政策にどう生かしていくかということで取り入れさせていただく、反映をする、ないしそういったことで検討の参考にさせていただくものでございます。

2番目のテーマでございます。昨年は健康寿命の延伸に向けてということをテーマとして意見交換をさせていただきました。今年は人口減少を踏まえた地域づくりということをテーマにご意見を頂戴したいと考えているところでございます。

3番目の日時、日程でございます。12月10日、日曜日、午後1時半からを予定してございます。次第につきましてはご覧のとおりでございますが、5番目の会場につきまして、以降、区役所等で開催をしておったところでございますが、今回につきましては、新潟大学農学部、こちらの第一講義室をお借りするというところで予定をしているところでございます。

6番目の参加者の中にもありますとおり、区自治協議会の委員の皆さまをはじめとして、大学生などからも、若い世代の方からもこういった人口減少を踏まえた地域づくりということで、意見交換をしたいということで、会場を選ばせていただいた次第でございます。

7番目でございます。つきましては11月10日ごろを予定して、皆さまに参加の開催案内をさせていただくということで考えてございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。なるべくご都合を空けていただいて、意見交換にご参加いただければと思ひております。よろしくお願ひいたします。

それでは資料2 - 2をご覧ください。続きまして当日配布資料2 - 2の中で、地域ミーティングに向けた事前資料の配付についてということでございます。昨年度、市では中学校区ごとに健康度について見える化を行いまして、地域の皆さまからわが事として感じる事ができたというご意見を頂戴することができました。これまで人口については、市全体や各区の将来人口を推計し、お示しをしまいいりましたけれども、今年度は中学校区ごとに将来事業を推計し、地域の人口と将来の姿について地域カルテとしてとりまとめ、見える化を行ったところでございます。先ほど説明をさせていただきました各区の地域ミーティングにおきまして、地域の皆さまと意見交換をより深めていけるよう、事前にこの地域カルテとしてお届けをさせていただいたところでございます。

下にありますとおり、資料の2番目の中で地域カルテの報告でございます。今日お配りをいたしますのは、人口の現状と将来推計といったところまででございますが、今後健康のデータや公共施設の配置状況などを示していきたいと考えております。できるだけバージョンアップをしながらやっていきたいと思っております。ただなかなかその辺り、当日配布をしてということになるやもしれません。ちょっとその辺は資料の作成度合いによりますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。まずは地域カルテをご覧いただき、12月の意見交換に臨んでいただければと考えているところでございます。

そこで今後地域の現状と将来の姿について、これについては今後地域カルテをどう活用するかということなのですが、当日の地域ミーティングの資料というだけではなくて、そういったことを知っていただき、地域の皆さまで地域の現状や将来の姿についてお話をいただく。また地域で活動をされていますさまざまな団体からも話を出していただき、活発にご議論をいただいているという状況の中で、そういった団体の中で、皆さまで情報共有をしていただき、新たな活動の実施ですとか、活動を見直す際にカルテを資料の一つとしてご活用いただければと考えているところでございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

一番下、3番目の当面のスケジュールについてでございます。今ほど申しましたとおり、一番右手に各区の地域ミーティングということで、早いところは11月の下旬から地域ミーティングが開催されます。私どもは12月10日ということで予定をしておりますが、ここに向けまして、今後各コミュニティ協議会にもこのカルテをお示ししまして、意見交換に備えてまいりたいと考えているところでございます。

なお、こちらの当日配布資料の2-2の裏面には、市報の10月1日号に掲載をされました市長の「ひこうき雲」を併せてお配りをさせていただいているところでございます。この度の地域カルテの狙いなど、市長の考えをお示しさせていただいておりますので、ぜひご一読いただければと思ひます。

それでは具体のカルテの見方などにつきましては係長から説明をさせますので、よろしくお願ひいたします。

(堀企画係長)

恐れ入ります。地域課企画係長の堀でございます。それでは私も若干お時間をいただきまして、資料2-4に厚い冊子を付けさせていただきましたので、今回この場におきましては、資料2-3、A4横、カラー刷りのものにつきましてご説明させていただきます。まず1枚おめぐりください。1番目の表、人口と世帯数についてでございます。2011年と2016年9月末現在の住民基本台帳の人口について、性別や0～14歳の年少人口、15歳～64歳の生産年齢人口、そして65歳以上の老年人口の年齢3区分別の状況を記載し、5年前と現在を比較したものになります。マイナスを赤字、プラスを黒字で記載いたしまして、地域のここ5年間の人口動向を実績値でご覧いただけるものとなります。

例えば例示でございますこの表においては、5年前と比較いたしまして総数が609人減少し、5.1%減少していることが赤字にてお示しされているかと思えます。年齢3区分別では0～14歳、年少人口はマイナス213人。15歳～64歳、生産年齢人口はマイナス832人と減少しておりますが、65歳以上高齢者につきましては、436人増加し、このうち75歳以上が243人を占めているという状況となっております。また参考といたしまして、右側に世帯数。こちらは37世帯増加しておりますが、1世帯当たりの人員は減少していることがお分かりいただけるかと思えます。

下に下りまして2番目、人口推計でございます。2011年から2016年の増減率でこのまま推移するとどうなるかという推計を20年後の2036年まで5年ごとで行いまして、地域の人口動向の変化を表したものでございます。例示でございますこの表におきましては、2016年と比較すると、2036年には総数1万1,417人から8,241人と3,176人減少いたしまして、割合といたしまして、27.8%減という予測となっております。また年齢区分を見ていきますと、0～14歳の年少人口におきましては、1,289人から764人に減少、割合にいたしまして40.8%の減。ほかの年齢区分においても赤字。すなわち減少と予測されておまして、うち表記している75歳以上を除きまして、全ての年齢区分で減少するという動向となっております。なお、ご参考といたしまして、表の下、四角囲みの欄に当該地域における人口動向のポイントをお示しさせていただいております。

続きまして次の3番。人口推計グラフでございます。①のグラフ、コーホート変化割合「2011⇒2016」となっているものでございます。このグラフは2011年と2016年を比較いたしまして、どの年齢階層で増減しているのかを把握するためのものでございます。右上の吹き出しをご覧ください。例えばAさんが属する2016年の5歳～9歳の年齢階層の人数が90人で5年前の2011年にAさんが0歳～4歳だったときの年齢階層の人数が100人であったとすると、増減率は10%減少。これをコーホート変化割合としてグラフ化したものとなります。若い方の死亡率は低いので、増減率というのは地域からの転出入とほぼ同じ伸びであるとお考えいただいて結構なものと思っております。一方で年齢が高くなるにつれて減少率が大きくなっているのは、お亡くなりになられる方がいらっしゃるということとなります。なお、グラフの下、四角囲みの欄にまた当該地域における増減率のポイントをお示しさせていただきたいと思っております。

続きましてグラフの2番目、左下でございます。年齢3区分別の人口の推移でございます。こちらは先ほどのページ上記表の1、及び表の2、2011年の実績から2036年までの人口推計の総数及び年齢区分別の人口の変化を表したものでございます。その隣の③番、年齢3区分別人口割合の推移です。こちらと同じく、先ほど表1、表2の各年齢区分別の人口割合、構成割合がどのように変化するかグラフ化したものでございます。例示のグラフにおきましては、65歳以上の人口割合が増加していく一方、他の年齢区分が減少していくことがご覧いただけるかと思えます。

ページを1枚おめくりいただきまして、次に④番、高齢者人口の推移になります。高齢

者は 65 歳～74 歳と 75 歳以上のいわゆる後期高齢者に区分いたしまして、人数と総数に占める割合の推移をグラフ化したものでございます。例えば記載のグラフでは、2021 年までに後期高齢者人口が前期高齢者人口を上回り、2026 年にピークを迎え、後期高齢者が人口のピークを迎えることが分かります。次に右側、⑤番、年少人口の推移でございます。こちらは高齢者と同様に 0～14 歳の年少人口とその割合の推移をグラフ化したものでございます。

最後に⑥～⑩人口ピラミッドでございます。2011 年から 2036 年までの人口構成を、下から若い順に 5 歳階級別、男女別によりグラフ化したものでございます。例示、この番号に従って年代順に追っていただきますと、出生数が少なく高齢化、いわゆるつぼ型からだんだんこのコーホート変化率が維持されると仮定した場合、2036 年にはほぼ逆ピラミッド型に近く構成が変化することがお分かりいただけるかと思えます。

最後に巻末に参考留意事項といたしまして、今ほどご説明申し上げましたデータの出所やコーホート変化率など、推計方法、そして前提条件等をまとめた留意事項を記載させていただきますので、後ほどご覧いただければと思います。

そして続きまして、この厚い冊子。こちらが資料 2 - 4、西区分の地域カルテとなります。こちらが西区について中学校区単位でまとめたものとなります。参考といたしまして一部、関屋中学校区におきましても西区分でございますので、掲載させていただいております。ボリュームのある資料となりますので、今ほどご説明いたしました見方に基づきまして、後ほどご覧いただければと思います。

最後といたしまして、先ほど冒頭に当課課長よりご説明させていただきましたように、本日より地域カルテを事前に配付させていただきました。12 月に予定する地域ミーティングにおきまして、人口減少を踏まえた地域づくりをテーマに意見交換をさせていただければと思っております。今後地域ミーティング等の意見交換を踏まえ、ぜひこちら自治協におきましても、情報提供や意見交換を行いながら進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。ご説明は以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございます。堀さんの説明は淡々とご説明なさいましたが、私ども 2025 年に、団塊の世代が 75 歳になるのです。私の記憶では日本全国で 75 歳以上が 760 万と記憶しておりますが、それだけ増えるのです。未恐ろしいこれから高齢化社会に向かうということでございますので、このテーマは非常に難しいですね。雇用の場所があればよろしいですが、皆さん方のお子さんとかお孫さん、出生率が 1 人から、今は 1.2 だったかな。国は。1.2 でしたかね。郷さん。郷さん。出生率。日本全国、1.3 だったかな、国は。減少率が 37 番目くらいだったかな。それだけ減少率がひどいと、こういうことを言われておりますので、他人ごとといわず、もう 75 歳。もう私ども目の先が迎えておりますので、皆さん方、今から心配して、市の方針、施策について意見を言ってもらいたいと思います。非常

に難しい問題でございます。

(永井地域課長)

ぜひ本当にご覧いただき、今日の自治協の中でご質問いただいてもなかなかお答えしにくいところも多々あると思います。また皆さんも、帰ってご覧になって、これはよう分からんなどということも出てくると思います。お気軽に私どもにおいでいただきなり、お電話1本頂戴するなりということで、お聞きいただければ、ぜひ12月までによくご覧いただければと思います。よろしくお願いいたします。

(岩協会長)

補足ですが、西区で25年度だったかな。若干人口が増えたのは、校區別で言うと東青山小学校がちょっと増えると。そういうデータをどこかで見ました。なぜかと言うと、理由は大型分譲マンションの空き地がいっぱいあるからだ、そういうことを言われておりまして、これはあくまでも推計でございます。ありがとうございました。

それでは報告事項(3)図書館資料の団体貸出先の拡大について、でございます。坂井輪公民館からの説明をお願いいたします。

(伊藤坂井輪図書館長)

坂井輪図書館長の伊藤と申します。日頃より生涯の学習の場としての図書館にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。今日は新潟市の全ての図書館が実施を始めた団体貸出制度について、資料2「新しい団体貸出制度について」に基づいて改めてご案内させていただきます。失礼ながら座って説明させていただきます。

新潟市の図書館では、これまでも学校や保育園、幼稚園のほか、社会教育団体や福祉団体などを対象に団体貸出を行ってきました。先ほど改めて申し上げましたが、西区の坂井輪図書館では、一昨年の平成27年8月から、団体の対象枠を広げ、コミ協や茶の間など地域の団体、民間の店舗など、法人や事業所、任意団体にも拡大したモデル実施を独自で行ってまいりました。その際には新潟大学の永吉先生にもお世話になりました。ありがとうございました。その実績を踏まえて、この10月から新潟市の全ての図書館で団体の対象を拡大する実施が始まりました。このことについてはチラシなどのほかに市報でもお知らせしておりますが、今日13日の新潟日報にも大きく取り上げられております。今まで坂井輪図書館が近くなかった団体利用者にも、わざわざ坂井輪まで来て借りなければならなかったのが、最寄りの図書館を利用できるようになりました。西区では内野図書館や黒崎図書館、隣の区の西川図書館などでも利用できるようになり、便利になりました。このことで、さまざまな地域団体や民間団体、グループなどからも便利に利用していただき、読書を通じて活動が広がったり、さまざまな交流のきっかけづくりに役立ちます。

それでは団体貸出について簡単にご説明いたします。まず1団体につき1枚の貸出カー

ドを発行します。1団体最大 100 冊まで1カ月間借りることができます。実際の利用では大体 20 冊から 50 冊の貸出が多いです。メニューとしてはまず「お客さまセレクト」というのがあります。直接来館していただいて、その図書館の本棚からご自身で選んでいただく方法です。「図書館セレクト」というのは図書館が選出したものをお借りいただく方法です。具体的なお希望の内容に沿って、司書が新潟市の図書館全ての蔵書、約 170 万冊から選ぶオーダーメイドと、あとは予めテーマごとに 25 冊ずつセットにしたテーマ別セットがあります。テーマ別セットには、ふるさと、小説、バラエティー、赤ちゃん、幼児、小学生、中学生、シニアの 8 つの種類が今用意されています。この中から組み合わせて借りていただくこともできます。どんな本を選んでいいかわからないという団体さまには大変便利です。図書館セレクトはご希望によりゆうパックで配送することもできます。ただし配送の費用は団体の費用負担となります。団体で借り受けた図書を団体構成員個人個人へ貸出することについては、借り受けた団体が責任を持って同じ状態でお返しいただければ可能といたします。

登録を希望される団体の代表者の方は、坂井輪図書館、内野図書館、黒埼図書館等、最寄りの図書館に必要書類を用意してお申込みいただけます。

最後に利用の事例といたしまして、裏面に坂井輪図書館のモデル実施の際にすでにご利用いただいている坂井輪小・小新中学校区まちづくりセンターさまの広報紙の一部と、雑貨店や学習塾の利用の様子を掲載させていただきました。利用についてのご相談がございましたら、ぜひ最寄りの図書館へお声がけいたしたいと思います。それでは団体貸出制度の説明については以上です。ありがとうございました。

(岩協会長)

ただ今図書館からの PR でございます。何か今の説明について、ご質問、ご意見等がございませんでしょうか。ありがとうございました。ないようでございます。

それでは 4、その他でございます。次第の最後でございます。事務局、何かございますでしょうか。

(堀企画係長)

それではご連絡させていただきます。まず次回の開催日程でございます。お手元にお配りいたしました西区自治協議会開催予定、A 4 資料をご覧ください。次回第 8 回となります自治協議会は、年間予定でお示しさせていただきましたとおり、11 月 28 日、火曜日、午後 3 時から、会場はこちら西区健康センター棟 1 階大会議室にて開催させていただきたいと思います。会議の議題等詳細につきましては、運営会議にてご調整させていただきます。改めて皆さまへご案内させていただきます。

続きまして、西区役所ミニコンサートのお知らせでございます。カラー刷りのものがございます。11 月 10 日の金曜日、12 時 20 分からキーボード奏者、太田芽衣さんによる演奏

となります。ぜひ多くの方よりお楽しみいただければと思います。これ以降は各種広報紙となりますので、後ほどご覧いただければと思います。事務局からは以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。ほかに委員の皆さま方、何かお知らせ等がございますでしょうか。永吉委員、お願いいたします。

(永吉委員)

先ほど言いました西区アートキャラバンのワークショップ、あと今回アートフェスティバルで展示した流木アートと2階の造形のほうが巡回を4会場ですが、それにちなんだワークショップ、子どもの体験型の造形教室を開いております。こちらも空きがまだございますので、もし委員の方でお知り合いがありましたら、ぜひお申込みいただければと思いますので、周知をお願いいたします。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。ほかに何かございませんでしょうか。なければ、平成29年度第7回西区自治協議会を閉会いたします。

(終了)